施設紹介

教育環境改善の変遷

この数年で施設の改修工事を重ね教育環境を整備しています。将来愛知教育大学の学生が社会のリーダーとして活躍できるよう、さまざまな経験を通じて知識・スキルの向上を図るための場を提供しています。

紹介動画はこちら！

2023年 音楽棟 改修

1階の演奏室はコンサートホールを模していてこの建物の象徴となり、内装の木質化により温もりが感じられる音響空間になりました。また建物玄関の天井は西洋建築物を模すことで高貴な芸術性を醸しています。中庭へはエントランスラウンジと一体的空間とし、建具を全面開放して屋外演奏会が実施できます。

2022年 保健体育棟 養護・幼児棟 改修

保健体育棟、旧養護教育1・2号棟を全面的にリノベーションし、本学の養護教育、幼児教育、保健体育教育の専門教育にかかる実習室の高度化を行いました。

2022年 美術・技術・家政棟 改修

本学の創造科学系における拠点として、今までにないものを創造する力を育むことを目的としたSTEAM教育の場となるよう「オープンラボ」「小学校、中学校用の模擬教室」「教育ものづくり連携スペース」が新設されました。

2021年 自然科学棟 改築

オープンラボやアクティブラーニングなど、Society5.0に向けた教育を施すための環境を整備しました。

2021年 講堂前広場「スカイガーデン」 改修

「水たまりができにくい床材」や排水機能の整備による「排水機能の強化」に加え、手すり・点字ブロックの整備による「バリアフリー化の推進」、防災ベンチの設置や階段の拡張による「防災機能の強化」、人工芝エリアの整備による学生や地域住民の「集い（交流）の場としての活用」など利便性の向上が図られました。

2020年 国際教育棟 コンバージョン

職員用宿舎をコンバージョンして、多文化体験の場や留学生、外国人のための日本語教育の場として活用されています。

2020年 次世代教育イノベーション棟 コンバージョン

創立70周年記念事業として整備されました。アクティブラーニングや現職教員の再教育システムを設置しています。

2019年 教育・人文棟 改修

分散していた教員研究室を本建物の3～6階に集約。3～6階の中央には教員同士の連携を促すオープン・ラボを整備しています。また、1階は学生が能動的に学習できるようアクティブラーニングに対応したコモンスペースを整備しました。

2019年 AUEセミナーハウス（合宿所） 改築

木造2階建て。1階と2階のフロアは同等の仕様となっており宿泊もできます。セミナー室は可動パーティションにより規模に合わせた分割利用が可能です。

2017年 附属図書館 改修

2階フロアは「動のエリア」としてグループ学習エリア、模擬授業ルーム、キッズライブラリーなどを設置し、3階フロアは「静のエリア」として、静かな環境での読書や学習、研究の場を提供しています。

2016年 教育交流館 改修

教育交流館は、1階にラーニングコモンズを設置し学生の多様な学習環境を確保しています。

2014年 教育未来館 新設

これまで学内に分散していた大学院修士課程、教職大学院および共同教科開発学専攻（博士課程）を集約して、教育研究の一層の充実を図ることを目的に新築されました。